

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1004	事務事業名	成人式開催事業	細事務事業名		公的関与	8						
課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 青少年の健全育成	主要施策								
事業の対象	東温市内在住及び市出身者の新成人			根拠法令									
事業の目的	最終的	大人としての自覚を促し、人生の節目の事業として実施します。		今年度									
活動内容	成人式実行委員会の設置			成人式該当者への周知(広報・イントラに掲載)									
	成人式の内容等について協議			会場準備									
	成人式該当者・恩師・来賓の方へ案内ハガキ送付												
成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
	成人式参加者数	目標：新成人対象者の80% 実績：成人式参加者数		人	目標	428	456	402	該当者の80%				
		実績	310		300								
					目標								
					実績								
				目標									
				実績									
予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
	一般財源	942千円	919千円	1,470千円									
	計(A)	942千円	919千円	1,470千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.385人	2,862千円	0.385人	2,908千円	0.385人	2,902千円						
	臨時職員工数・経費	0.006人	10千円	0.006人	10千円	0.006人	10千円						
全体事業費(A+B)		3,814千円	3,838千円	4,382千円									
一次評価者	社会教育係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市外に就職・進学した新成人にとっては、友人たちと再会できる場にもなっており、出席者からは好評を得ています。												
有効性	成人式は年に1度の事業であり、また参加者にとっては一生に一度の行事ですので、有効性は高い事業です。												
達成度	毎年実施しておりますが、大人としての自覚を持ち、問題なく実施出来ておりますので、概ね達成しています。												
効率性	現在運営委員会形式で実施しておりますが、毎年参加者が少ないため、運営が難しくなっております。もっと効率のよい運営を検討する必要があります。												
当面の課題	成人式の内容を充実させるため、運営委員会の運営方法について改善が必要です。												
改革計画	他市町の情報を収集し、募集方法等の改善を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	成人式は、イベントでは無く、儀式で有る事を認識して、運営委員会ですっかり検討して、思い出となる式典としてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1009	事務事業名	Jr.リーダー育成講座事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	15年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(4) 青少年団体、リーダーの育成				
	事業の対象	東温市内の中学生				根拠法令	社会教育法						
	事業の目的	最終的	新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します。			今年度	体験学習を通し、生き抜く力を習得し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人一人の自己教育力の確立を目指します。						
	活動内容	7月下旬 他市町と中学生との交流キャンプ(日食観察、ペットボトルロケット作成、段ボールによるホート作成を作成し、交流しながら自然科学を学びます。)				2月中旬 森林ボランティア(塩ヶ森の山林で枝打ち作業を体験し、自然に対する思慮を深めます。)							
		8月上旬 わんぱく広場教育キャンプ(小学生高学年のキャンプに先輩として指導する立場で参加し、リーダーとしての振る舞いを体得します。)											
		8月中旬 無人島での自給自足のキャンプ(不便な環境のもと生きる力を習得します。)											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標	30	30	30	30		
実績							25	18					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	414千円	343千円	731千円								
	計(A)	414千円	343千円	731千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.313人	2,327千円	0.313人	2,364千円	0.313人	2,359千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		2,741千円		2,707千円		3,090千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	学校の枠を超えた中学生対象の年間講座は、ほかにありません。他の市町でも事例がなく、交流事業でも本市が主導して実施しています。												
有効性	年間を通した講座を体験することにより、確実に成長しています。												
達成度	年により参加者の人数は増減するが、ほぼ達成しています。また、この講座の修了者(卒業生)にも毎年参加を呼びかけており、後輩の指導を行っています。												
効率性	体験学習は様々に工夫により、年々コストを縮減しています。												
当面の課題	夏休み中の講座は充実しているが、2学期や3学期中のカリキュラムが組みにくくなっています。												
改訂計画	各種ボランティアや、各部局の事業との連携を模索します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	もっと中学生に魅力の有る、興味の有る、参加して良かった！ためになった！という講座を実施してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1014	事務事業名	わんぱく広場事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策					
	事業の対象	東温市内に在住している小学4年から6年生の児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	体験活動を通じて地域の自然・文化を再認識させ、仲間意識・連帯感の高揚を図り、子どもに生きる力・創造力・健全な心身を養うことを目的とします。			今年度							
	活動内容		7月11日(土)	16ミリ映写機で映画を見よう!			1月30日(土)	わんぱく料理工房!					
			8月5・6日(水・木)	夏季教育キャンプ(松山市中島町大串キャンプ場)			2月20日(土)	アクロス重信施設見学及びそり体験					
			12月12日(土)	昔ながらの正月わくわく体験									
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		講座参加募集数	講座参加数		人	目標	80	80	80	80			
			実績	50	41								
アンケート満足度		満足度5段階評価(5点満点)5及び4採点者数/参加人数		%	目標	100	100	100	100				
				実績	84	93							
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	304 千円	250 千円	419 千円								
	計(A)	304 千円	250 千円	419 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.160 人	1,189 千円	0.160 人	1,209 千円	0.160 人	1,206 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,493 千円		1,459 千円		1,625 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	実施方法は各市町で違いはありますが、ほとんどの市町で独自に実施されております。また学校で行う活動には限界があるため、活動を補い、学校ではできない経験をさせることは必要です。												
有効性	学校ではできない講座内容を考えて実施しております。また講座をととして他校の児童との交流や協調性、自主性を身につけるのに有効です。												
達成度	次年度も続けて講座に参加してくれる児童もおり、また少子化で児童数が減少しているにもかかわらず、参加数もほぼ毎年一緒となっているため、概ね達成しています。												
効率性	なるべく予算をかけない様に考えて実施しておりますが、ボランティア制度等を利用しさらなる効率性を検討する必要があります。												
当面の課題	学校やスポ少活動では得られない部分を補い、児童の健全育成が促進できるように、講座内容を充実させ、より良いものを提供できる様に検討が必要です。												
改 革 画	他の市町の実施内容等の情報を収集し、改善を検討していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	知識として知っていても、体験をしない事には、知恵になりません。あらゆる機会を通して、体験が出来る講座にするとともに、実施回数についても検討してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1019	事務事業名	大人と子どものふれあい広場事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営・一部委託	実施計画	非該当	事業期間	2年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(3) 青少年の体験・交流活動等への参画促進				
	事業の対象	東温市内在住で、必ず親(保護者)と子どもで、参加できる方				根拠法令							
	事業の目的	最終的	地域の自然や文化などを家族で体験し絆を深め、東温市をより深く知っていただき、郷土愛をはぐくんでいきます。			今年度	空気を利用した科学のおもちゃや、市内の文化や各施設を利用した教室を通じて、東温市のことを知ってもらい愛着を深めていただきます。						
	活動内容		5月 みんなで「舞ラブとうおんよさこい」を踊ろう！(市内の夏祭り・観月祭で踊るとおんよさこいの踊りを、振り付けした役者を招いて習得しました。)				10月 もち麦で手打ちうどんに挑戦！						
			5月 ペットボトル工作教室(身近なもので、ロケットやホバークラフトを制作することにより、科学に対する興味を持っていただきました。)				11月 親子スノーボード教室						
			6月 坊ちゃん劇場まるかじり教室(舞台芸術観賞)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
		教室参加者数		参加者延人数			人	目標	180	180	180	200	
						実績	200	186					
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成	20年度決算	平成	21年度決算	平成	22年度予算	備考				
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円					
		地方債		0千円		0千円		0千円					
		その他特定財源		0千円		0千円		0千円					
		一般財源		66千円		85千円		107千円					
	計(A)		66千円		85千円		107千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)			66千円		85千円		107千円					
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	教育委員会が主催することにより、市民が安心感を持って、応募・参加できます。												
有効性	東温市の文化などの体験を通じて、郷土のことを深く知っていただいています。また科学的なおもちゃの作成により、父親との参加が増えています。												
達成度	どの講座も、定員を超える申し込みがあり、再度の開催要望があります。												
効率性	参加者には、材料を持参していただいたり、参加料を負担をしていただいていますので、市の支出額は少なくなっています。												
当面の課題	新たな広場の企画や講師の確保が課題です。												
改訂計画	教育委員会と愛媛大学との連携などを活用していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	親子に参加出来る機会を提供する事が大切です。自然や文化などを知るために広い分野で計画を進めてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1027	事務事業名	社会人権同和教育事業	細事務事業名		公的関与	1						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営・補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第6章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	1 人権尊重のまちづくりの推進		主要施策	(2) あらゆる場を通じた人権教育・啓発活動の推進				
	事業の対象	市民				根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律						
	事業の目的	最終的	人権が尊重される社会の実現を図ります。			今年度	地域住民に対し、あらゆる場を通じ、人権意識を高めることができる場を提供していきます。						
	活動内容	人権講座の開催				市内企業訪問で人権啓発(人権教育協議会)							
		人権ゼミナールの開催				人権啓発パンフレット作成(人権教育協議会)							
		東温市人権を語る集いの開催(人権教育協議会)											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		人権講座参加者数		参加延人数		人	目標	250	300	330	400		
実績							370	331					
人権ゼミナール参加者数		参加延人数		人	目標	150	200	250	300				
					実績	180	624						
人権を語る集い参加者数		参加延人数		人	目標	200	250	300	400				
					実績	280	305						
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費	平成 20 年度決算		平成 21 年度決算		平成 22 年度予算		備考					
		国・県支出金	47 千円		47 千円		37 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	3,413 千円		3,452 千円		3,456 千円						
	計(A)	3,460 千円		3,499 千円		3,493 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.135 人	231 千円	0.135 人	231 千円	0.135 人	230 千円					
	全体事業費(A+B)		3,691 千円		3,730 千円		3,723 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	ネットいじめ等の新たな人権問題の増加が見られる中、同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する市民の理解と認識を深め、自らの課題として解決する人権尊重意識の高揚を図るため、行政が積極的に取り組む責務を負っています。												
有効性	生涯学習の観点に立って、社会教育と学校教育の両面から、また関係機関、団体等との連携のもと、学習の場の確保と研修の充実により、人権意識と実践力を高める成果が大きく期待できます。												
達成度	人権講座、人権ゼミナール、人権を語る集い等の研修会参加者数は増加傾向にあり、市民の人権意識の高揚が図られるとともに、「人権文化の根付くまちづくり」に大きく貢献しています。												
効率性	研修会の実施に際しては、テーマに即した講師等を必要最低限の謝礼、旅費等で依頼するなど、効率実施に努めています。また、愛媛県人権教育協議会等との連携を深め、講師派遣協力等により、コスト削減に努めています。												
当面の課題	事業のより一層の工夫改善を通して、理解からさらに実践化、日頃からつなげていくことが必要です。												
改革計画	聞くだけの研修から、ワークショップ等の参加体験型研修やディスカッション形式等の導入を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	国民の課題として、積極的に取り組みが必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1032	事務事業名	市民大学開催事業		細事務事業名			公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	17年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(2) 芸術・文化の鑑賞機会と発表機会の拡充				
	事業の対象	市民			根拠法令	社会教育法							
	事業の目的	最終的	市民大学を市民との協働のもとに進めるとともに、民間の劇場との連携により、多様な芸術・文化を鑑賞する機会の拡充を図ります。			今年度	東温市文化協会が、各界の第一人者を招いて、それぞれの専門分野のわかりやすい講演等を実施します。						
	活動内容	坊っちゃん劇場で、子規記念博物館 竹田美喜館長の講演「子規さんを楽しもう!!」の後、ミュージカル「正岡子規」を観劇します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		市民大学参加者数		市民大学参加者数		人	目標 450	450	450	450			
							実績 411	413					
							目標						
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	800千円	800千円	800千円								
	計(A)	800千円	800千円	800千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.008人	59千円	0.008人	60千円	0.008人	60千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		859千円	860千円	860千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民大学は、東温市の個性や独自性を生み出すとともに、市民の一体感を高めるために重要な事業です。このような文化鑑賞機会の拡充に努めることが文化の香り高いまちづくりを進める上で重要です。												
有効性	市民大学の受講ニーズは、受講者数以上にあり、毎回盛会です。文化の香り高い個性豊かなまちづくりと市民の一体感の醸成が大いに期待されています。												
達成度	市民大学受講者は、増加傾向にあります。地方では、なかなか体験できないミュージカルが観劇でき、題材が身近なもので受講生の満足度は高い事業です。												
効率性	市民大学受講者は、増加傾向にあります。地方では、なかなか体験できないミュージカルが観劇でき、題材が身近なもので受講生の満足度は高い事業です。												
当面の課題	文化協会が企画運営している市民大学は、受講生の推移、受講券の売れ行きなどから受講生の満足度は高いが、反面、行きたくても行けない人もいますので、受講生の状況の把握も必要です。												
改 革 画	開催の案内方法や、受講券の発売方法の改善等、検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	更なる内容の充実に期待し、文化協会への委託事業として継続実施してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1033	事務事業名	各種講座開催事業	細事務事業名	いきがい大学事務	公的関与	8						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	17年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(5) 特色ある生涯学習プログラムの整備と提供				
	事業の対象	東温市に在住する60歳以上の高齢者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	高齢社会において必要な知識や技術を幅広く学習する機会を提供します。			今年度							
	活動内容	健康医学に関する講座を実施します。				人権に関する講座を実施します。							
		料理講座を実施します。				三世代交流仲よし運動会を実施します。							
		県外研修を実施します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		講座参加数		全講座登録者数		人	目標	60	60	60	60		
					実績	46	51						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	395千円	350千円	366千円								
	計(A)	395千円	350千円	366千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
		臨時職員工数・経費	0.391人	669千円	0.391人	669千円	0.391人	665千円					
	全体事業費(A+B)		1,064千円	1,019千円	3,320千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	この地域には、まちづくりのために貢献しようという気概と情熱のある高齢者が多いので、自分の人生の歩み方や地域への貢献の仕方を主体的に学ぶ機会を提供することは必要です。												
有効性	講座内容から、受講生は、多くのことを学んで生きがいを見つけたり、相互に懇談する中で、共感したり激励したりして、自分の人生に活気を取り戻すことができ、意義のある講座です。												
達成度	講座内容が、健康医学関係、料理関係、人権啓発土曜講座、文化財探訪、三世代交流など他分野なので、受講生は受講内容を自分の生活に生かし、満足感を得ています。												
効率性	講座内容に市や県の人権関係の講座を導入したり、地域の婦人会の事業との合同開催を通したりして実施手段の効率化や経費削減に努めています。												
当面の課題	講座内容を時代の流れや受講者の希望、地域の動向を探りながら企画運営をすることが課題です。												
改訂計画	高齢者に役立つ講座内容を考え、できるだけ多くの情報を把握し、予算内で講師と折衝できるよう企画していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	参加者が固定化している傾向にあります。より幅広い参加者の募集を行うとともに、受講者のニーズに合った内容の講座になるようにしてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

023	1034	事務事業名	各種講座開催事業	細事務事業名	レディース学級事務	公的関与	8						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	17年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 生涯学習社会の確立		主要施策	(5) 特色ある生涯学習プログラムの整備と提供				
	事業の対象	東温市に在住する女性				根拠法令							
	事業の目的	最終的	女性を対象に、生涯学習社会に対応するための知識や技能を幅広く学習する機会を提供します。			今年度							
	活動内容	趣味講座を実施します。				県外研修(文化財を訪ねて)を実施します。							
		人権講座を実施します。				三世代交流仲良し運動会を実施します。							
		健康・医学に関する講座を実施します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		講座参加数		講座参加人数/全講座登録者数		人	目標 60	60	60	60			
					実績 44	48							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	260 千円	388 千円	378 千円								
	計(A)	260 千円	388 千円	378 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.354 人	606 千円	0.354 人	606 千円	0.354 人	603 千円					
	全体事業費(A+B)		866 千円		994 千円		981 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	女性が精神的にも肉体的にも生き生きと健康的な生活をしていくためには、常に前向きに学習し、自分を高めていくことが大切である。したがって自分を高め、地域に貢献するために学習の機会を提供することは必要です。												
有効性	受講生は、健康・趣味・教養・人権等、さまざまな分野で、幅広く学びながら、お互いに楽しく歓談もし、日々の生活に活気と潤いをもたらすことができ、意義のある講座です。												
達成度	受講生は、他の組織にも所属していたり、自分の体調を崩したり、家族の介護をしていたりして、講座に参加できないこともあるが、参加意欲は高く、受講を楽しみにしている人もたくさんいます。												
効率性	講師謝金等は、県・市の人権教育協議会や人権対策協議会と連携し縮減に努めている。また、地域婦人会の事業との合同開催も図り、実施手段の効率化や経費削減に努めます。												
当面の課題	講座内容を時代の流れや地域の動向、さらに受講者のニーズ等を踏まえて企画運営することが課題です。												
改 革 画	女性の向上が心身ともに図られるように講座内容を考え、予算内で企画運営していきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	幅広い学級生の募集となるよう努めるとともに、学級生のニーズを踏まえた内容を工夫してください。												